

# 一般質問

## (会派代表質問)

### 市民クラブ

#### 民間保育士の処遇改善

**問** 保育士不足が全国的な課題となる中、長崎市としてはどのような取り組みを行っているのか。

**答** 国においては、平成27年度から、保育所等職員の人件費の加算措置を各施設への給付費の中で行うなどの予算措置がなされている。

長崎市においても、平成28年度から民間保育所等に、保育士の賃金に加算することを条件とした保育士処遇改善費を市単独で補助している。

また、平成29

年度の国の予算案においても、保育士等のさらなる処遇改善が盛り込まれているため、制度の全容が示され次第、速やかに対応したい。



#### 長崎みなとメディカルセンター 市民病院の課題と解消策

**問** 目指していたER型の救急救命センターが設置されていないが、課題の解消策はあるのか。また、小児・周産期医療体制はどうなっているのか。

**答** 救急専門医2名が退職したことなどにより、必要な人材が確保できていないことから、早急に整備できるように、長崎市立病院機構において、救急専門医の確保に全力で取り組んでいる。

また、小児・周産期医療については、新生児集中治療管理室を3床から6床に増床し、他の医療機関と連携することにより、ハイリスク出産や未熟児に対する医療を実施している。今後とも、リスクの高い32週未満の新生児の受け入れを進めることができるよう充実し、努めたい。



▲平成29年1月に全ての工事が終わり  
グランドオープン

### 明政クラブ

#### 合併地区の今後の振興策

**問** 人口減少が顕著な合併地区の検証状況と、今後の振興策について伺いたい。

**答** 合併後10年を機に、昨年、当初の合併の目的である行財政基盤の強化や住民福祉の向上などについて検証を行った結果、主要な財政指標において改善が見られ、多様化する行政ニーズにも対応してきたことから、合併の目的はある程度達成できたと判断している。また、検証に当たり合併地区の住民を対象に行ったアンケート調査では、道路などの都市基盤をはじめ、生活環境、消防・防災体制などの評価が比較的高く、子育て支援や教育の充実、産業の振興、行政の体制などの評価が低くなっている。

今後は、検証結果を踏まえ、課題を整理しながら、市町村建設計画に掲げる各種施策や、地域振興計画の重点化方針に基づき、事業の着実な推進を図り、各地域の振興に努めていきたい。

#### 企業誘致と若年者の人口減少対策

**問** これまでの成果と今後の具体的な計画及び対策について伺いたい。

**答** 製造業の誘致については、平成25年度に自動車関連部品の製造を行う株式会社カネミツを茂木地区に誘致するとともに、田中町の卸団地に隣接した用地について、企業立地用地として整備を進めている。今後も、既存の工業団地などを活用し、また、長崎市の産業や人材などの特性などを踏まえながら、引き続き積極的に取り組むたい。

若年者の人口流出については、新卒3年未満を主要な対象として対策を進めており、テレビ番組の放映や首都圏・福岡都市圏の大学などへの訪問による地元企業に関する情報提供、地元企業の県外での面談会参加の経費支援などに取り組んでいる。今後も、国や県の関係機関と連携した取り組みを進め、一人でも多くの若者が長崎で働くよう努めたい。



▲平成25年度に誘致した(株)カネミツ